

サステナブルファイナンス推進 に向けた人材の育成と活用

一般社団法人 科学と金融による未来創造イニシアティブ (FDSF)

2023年6月

FDSFのご紹介

法人名： 一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ
FDSFとは、「一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ」の英語名”Future Design Initiative by Science and Finance“の略

所在地： 東京都港区

代表理事： 小野塚恵美 エミネットグループ株式会社 代表取締役、武蔵精密工業株式会社 取締役、金融庁サステナブルファイナンス有識者会議委員
理 事： 岸本充 慶応義塾大学イノベーション推進本部 特任教授
棚橋 慶太 広島経済大学経営学部 教授
野村 裕之 株式会社かんぽ生命保険 執行役員 兼運用企画部長
渡邊拓 HERO Impact Capital Founder & General Partner

監 事： 安間匡明 一般財団法人社会改革推進財団エクゼクティブアドバイザー
シニアアドバイザー：春名貴之 株式会社かんぽ生命保険 常務執行役(CO-CIO)

設立経緯： 2021年5月より金融庁サステナブルファイナンス有識者会議の数名と科学(大学)関係者による勉強会を実施。アカデミアの科学的知識を社会に実装する取り組みとサステナブルファイナンスを通じた新しい資金循環の促進を目指し、科学・技術と金融を繋ぐ人材の育成、資金供給の仕組み等について議論。その活動を更に加速化するべく、2022年2月に法人化。

活動実績： ①サステナブルファイナンスの最新事例勉強会(前身団体)
メンバー、ゲストスピーカーからの事例紹介とディスカッションを行う有志による勉強会

②FDSF Global Conference 企画立案運営
2022年7月20日第一回FDSF Conference開催 (参加者250名)



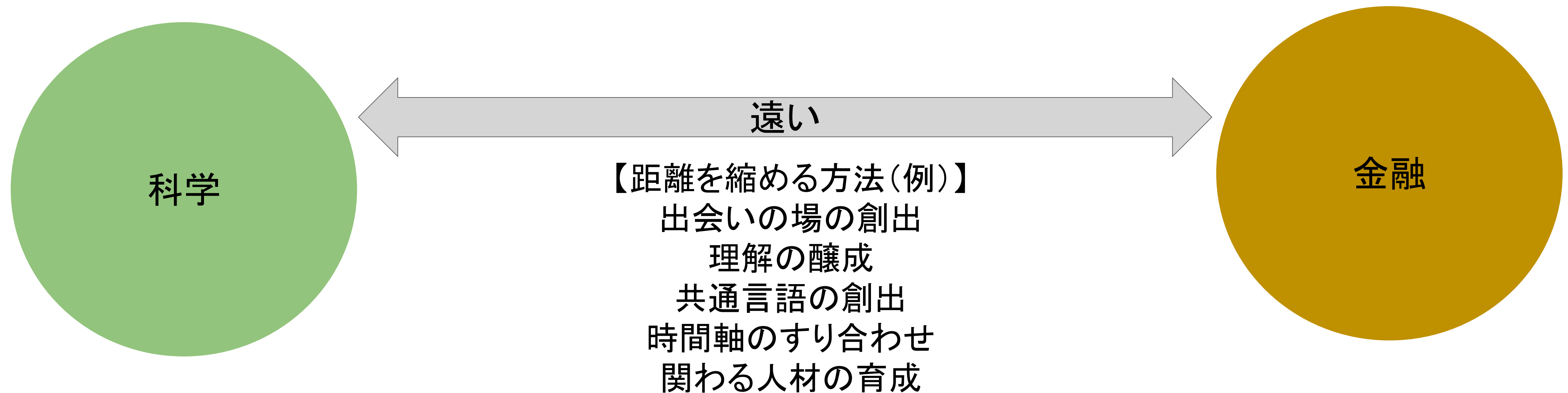
2022年FDSF Conference当日会場の様子

【課題】持続可能な社会に向けて更なる科学の発展とその成果の実装による課題解決が金融を伴って早く、多数実現する必要があるが、日本ではそのための資金の好循環が不足している

【仮説】その一つの理由として、**科学と金融の距離が遠い**のではないかと

- ・**科学**とは、様々な事象を目的を持って研究する活動
- ・科学の**成果**は**技術**となって**社会実装**されるものもある
- ・我々を取り巻く**社会課題の解決**のために、**自然科学と人文科学の知見の融合**が期待されている

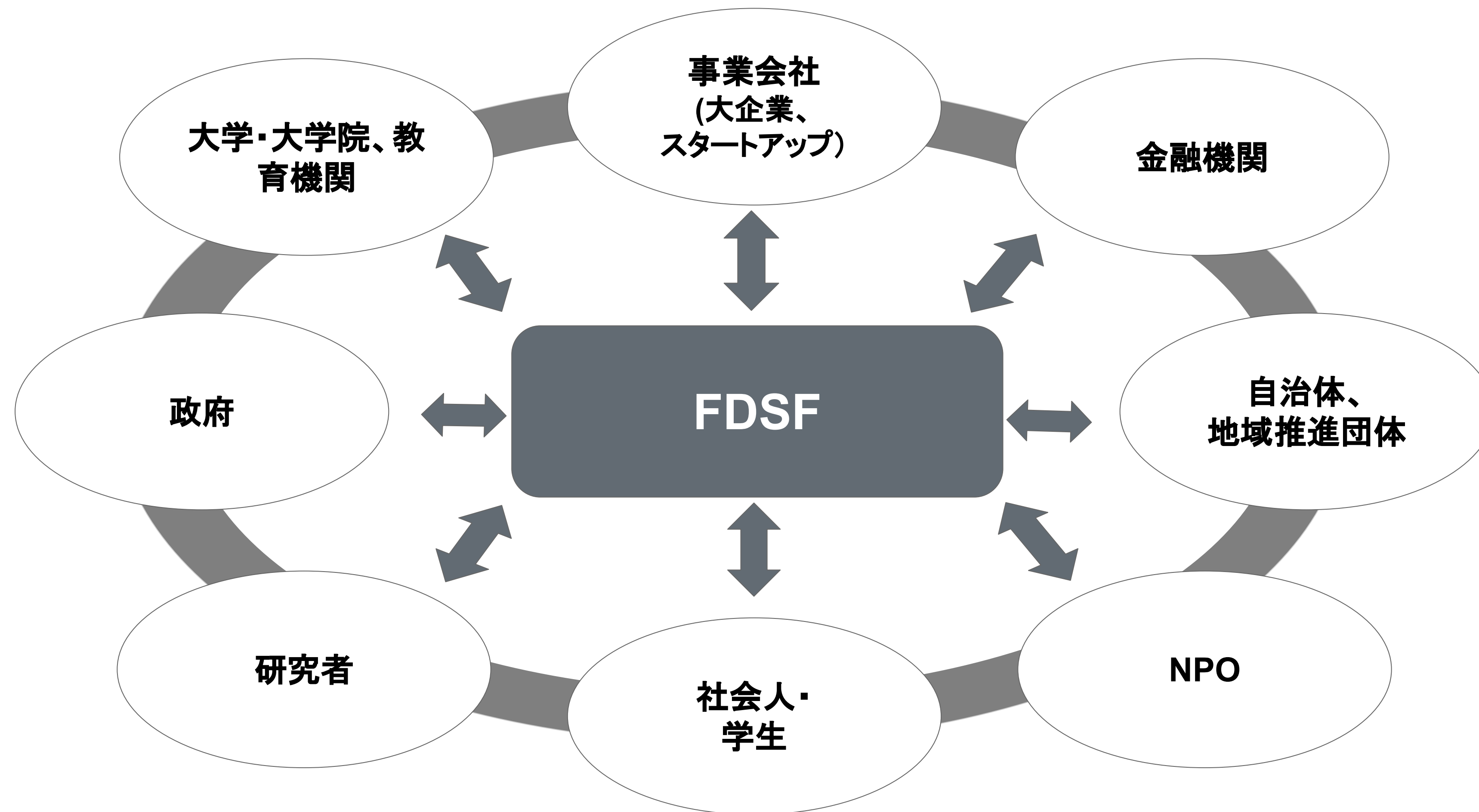
- ・**金融**とは、金銭の融通の略語：資金がある所から不足しているところへ**お金を融通**すること
- ・科学的発見と技術の**社会実装への資金循環**を通じて、**社会課題解決に貢献**することが期待される



Our Mission:

- ①場づくり: お互いをより理解し、ネットワークを築くための機会の提供
- ②人づくり: 2つの世界を繋ぐ人材の拡大と活用
- ③未来への投資: 資金を循環させ、科学の知見を社会実装する仕組みづくり

科学と金融に関する**国内外の関係者**を巻き込み、
経済価値と社会価値の創出にシームレスに取り組み、**社会のアップデート**を目指す



FDSF Global Conference 2023は、昨年7月に開催されたFDSF Conference 2022の成功を礎に、よりグローバルな視点を踏まえ、本年7月に開催の予定です。海外からの登壇者による外から見た日本への期待感の共有、サステナブルファイナンスに関わる様々な立場の方々の参加によるネットワーキングの機会を提供いたします。

概 要:

- [名 称] FDSF Global Conference 2023
- [主 催] 一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ、SX推進大手数社
- [運 営] Jazzy Business Consulting株式会社(事務局) & 株式会社JAZZ SUMMIT TOKYO
- [協 力] アーキタイプベンチャーズ、ブランズウィック・グループ
- [協 賛] T&Dグループ、大和アセットマネジメント、Bloomberg、ティーロープライス、みずほFG、三菱地所
- [後 援] 金融庁、経産省、環境省、内閣府
- [開催日程] 2023年7月21日(金)
- [開催場所] 東京都千代田区丸の内 丸ビルホール&コンファレンススクエア
- [参加予定人数] オフライン + オンライン(配信) = 計500名

予定参加者／企業等:

- サステナビリティトランスフォーメーション/SX推進企業
- 研究開発型スタートアップ企業
- 金融関係者(機関投資家、アセットオーナー、ベンチャーキャピタル、証券会社、銀行、地域金融機関)
- 大学・アカデミア関係者、学生
- 政府関係者
- メディア関係者等

人づくり事業

Sustainable Finance Human Capital (SFHC)の3つの柱

SFHC情報ライブラリ

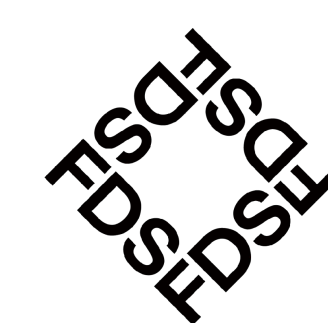
グローバルに存在する**サステナブルファイナンス、サステナブル経営**に関するアカデミックプログラム(大学・大学院コース、ディプロマコース、エグゼクティブコース、資格試験等)をウェブサイトにて紹介

体験談Blog

プログラム体験者、SFHC育成の関係者による生の声を紹介

スポンサーシップ プログラム

サステナブルファイナンス推進に向けて研鑽を積む、研究に取り組む人たちを応援する目的で、研究補助費(奨学金)を提供(予定)



Sustainable Finance Human Capital (FDSFウェブサイト)

Sustainable Finance Human Capital

サステナブルファイナンス実装のための人材育成と活用

SFHC情報 ライブラリ

世界のアカデミックプログラムを紹介

WHAT is SFHC?

サステナブルファイナンスの
推進を後押しする
専門知識・スキルの習得を
応援します

サステナブルファイナンスを通じたイノベーションの社会実装には、より多くの専門人材の育成・活用が必要です。当団体の目指す「科学(アカデミア)と金融の間を繋ぐ人材を育成し、新たな資金循環を創る」ことに向けて、専門知識、スキルの習得に関連する情報を発信します。SFHC情報ライブラリ（近日公開予定）で世界中のサステナブルファイナンスや関連知識のプログラムの情報を提供すると共に、STORYでは体験談・プログラム開発に込められた思い等を紹介します。

FDSFでは、知識、スキルの習得に関して[スポンサーシッププログラム](#)を通じて研究補助費の提供も展開していきます。

奨学金制度の詳細

STORY 記事



SASB-FSA、CFA-ESG Investing資格試験の体験談をアンナ・ウェストさんにお聞きしました

SFに関する学びの体験談の紹介

資料



代表理事
小野塚恵美
Emi Onozuka

エミナントグループ 代表取締役社長CEO
金融庁サステナブルファイナンス有識者会議委員

JPモルガン(1998-2000)、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(2000-2020)、カタリスト投資顧問(2020-2022)に勤務。うち20年以上は資産運用に携わり、3つ部門(運用、営業、管理)を全て経験。2012年以降、ESG分野での専門性を培い、機関投資家としてESGリサーチ、投資先上場企業との対話、議決権行使を中心としたステewardシップ活動を推進。直近ではアクティビストファンドの経営者として、日本の上場企業のガバナンス向上、資本市場の高度化、最終受益者への啓発に注力。金融庁サステナブルファイナンス有識者会議、経産省非財務情報の開示指針研究会に参画。日本を代表する機関投資家団体として世界から認知されるジャパン・ステewardシップ・イニシアティブ(JSI)で運営委員長を務める。東京理科大学大学院経営学研究科技術経営(MOT)修士。



理事
岸本 充
Mitsuru
Kishimoto

慶應義塾大学 イノベーション推進本部 特任教授

1997年に理化学研究所に入所。我が国の科学技術史に残る複数の大型プロジェクトの企画に関わり立ち上げを行う。好奇心による発見・発明の土壌づくりと、より良い社会を実現するためのイノベーションに挑戦してきた。近年は研究機関や大学において未来社会のデザイン、エコシステムにおける価値連鎖、コモンズとしての大学の役割などについて組織を超えた検討と実践に挑戦している。2022年4月より現職。大阪大学核物理研究センター特任教授。



理事
棚橋 慶太
Keita Tanahashi

広島経済大学経営学部 教授

1986年日本興業銀行入行、興銀証券、ドイツ及びロンドン証券現地法人、みずほ証券勤務を経て2006年に三井物産株式会社に入社、オルタナティブ投資商品の企画・運用・販売に従事、同社子会社であるジャパンオルタナティブ証券(現三井物産オルタナティブインベストメンツ)や物流施設に投資するJ-REITである日本ロジスティクスファンド投資法人を運営する三井物産ロジスティクスパートナーズの代表取締役、またかんぽ生命保険に出向し不動産ファンド投資担当部長を経て国内外社債、同ファンド投資及びオルタナティブ投資9兆円弱を担当する運用開発部長を歴任。2021年より広島経済大学経営学部教授。慶應義塾大学経済学部卒業、筑波大学修士(経営学)、青山学院大学博士(プロフェッショナル会計学)。



理事
野村 裕之
Hiroyuki Nomura

株式会社かんぽ生命保険 執行役員 兼運用企画部長

1989年に第一生命保険相互会社(現 第一生命保険株式会社)入社。第一生命英国現地法人出向、DIAM(現 アセットマネジメントOne)英国現地法人出向、第一生命保険株式会社債券部長を経て、2017年4月に株式会社かんぽ生命保険入社。市場運用部長、運用企画部長を経て、2023年4月より現職。生保・アセットマネジメント会社にて長きに渡りファンドマネジャー業務に携わり、現在はいかんぽ生命の資産運用の深化・高度化を進めるとともに、幅広い資産を長期的に運用するユニバーサルオーナーとして積極的にESG投資、インパクト投資を推進、国内外の各種フォーラム・カンファレンスに登壇。1989年3月慶應義塾大学経済学部卒業。現在、JPインベストメント株式会社取締役、三井物産かんぽアセットマネジメント株式会社 取締役。



理事
渡邊 拓
Hiro
Watanabe

HERO Impact Capital General Partner
一般財団法人 ZERO Foundation 代表理事

1992年、京都府生まれ。洛南高等学校卒業。慶應義塾大学退学。在学中にNPO法人AIESEC JAPAN 2015年度代表を務める。AI特化型インキュベーター兼VCであるDEEPCOREへ2017年に参画し、研究開発型スタートアップへの創業期投資を担当。2021年12月に、地球課題解決に貢献する次世代研究者を支援する財団 | ZERO Foundationを設立し、代表理事に就任。2022年2月に、若手研究者と共同創業するベンチャーキャピタル | HERO Impact Capitalを設立、General Partnerに就任。同じく2022年2月に、一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブを設立、理事に就任。

メンバー紹介：監事・アドバイザー



監事

安間 匡明

Masaaki Amma

PwCサステナビリティ合同会社 執行役員常務
一般財団法人社会変革推進財団エグゼクティブアドバイザー

1982年日本輸出入銀行（現㈱国際協力銀行）入行。世界銀行日本理事室出向、開発金融研究所副所長、大阪支店副支店長、業務企画室長。経営企画部長、執行役員企画管理部門長などを経て取締役（2017年退任）。大和証券㈱顧問を経て、現在、PwCサステナビリティ合同会社執行役員。経済同友会会員、一橋大学公共政策大学院客員教授、福井県立大学客員教授、東京大学工学系研究科非常勤講師。京都大学経済学部卒業、英国 LSE（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス）大学院 Diploma（経済学）修了、東京大学博士（工学）。



シニアアドバイザー

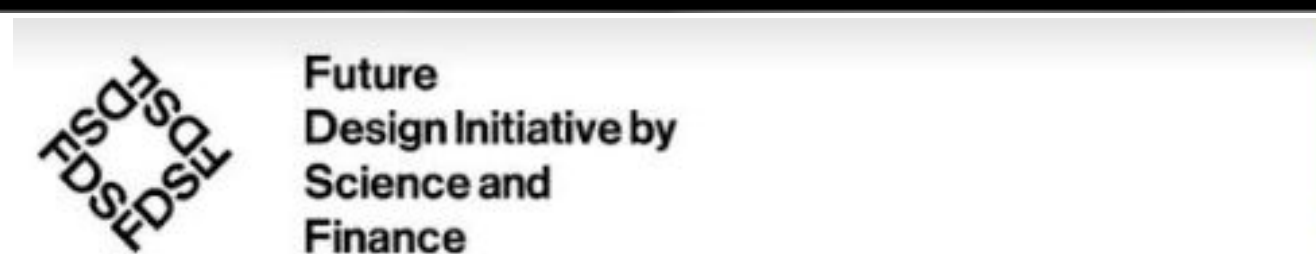
春名 貴之

Takayuki Haruna

株式会社かんぼ生命保険 常務執行役 Co-CIO
大阪大学 核物理研究センター 招へい教授
立命館大学 総合科学技術研究機構 客員教授

1991年 農林中央金庫入庫。ジャパンオルタナティブ証券株式会社（現 三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社）の取締役執行役員 COOを経て、2016年 株式会社かんぼ生命保険入社。執行役員運用開発部長、執行役運用企画部長を経て、2021年4月より現職。市場運用部、オルタナティブ投資部、クレジット投資部の運用フロント部門全体の担当役員として、かんぼ生命の資産運用の深化・高度化並びにESG投資を推進中。1991年 立命館大学経済学部経済学科卒業。

FDSF Global Conference 2023 プログラム(予定)



FDSF Global Conference 2023 サステナブルな未来創造を目指して

FDSF Global Conference 2023は、サステナブルファイナンスを促進し、社会のアップデートに向けた活動の繋がりとなることを目指しています。海外からのスピーカーによる登壇、最先端のインパクト投資やESG投資を含むサステナブルファイナンスの動向、大学発研究開発型スタートアップのエコシステム作り、アカデミアと事業会社によるオープンイノベーションに関する知見を共有します。

7月21日(金)

9:45~18:00

丸ビルホール&コンファレンススクエア

(東京都千代田区丸の内2丁目4-1丸ビル7階)
<https://www.marunouchi-h-c.jp/>

主催 一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ (FDSF)
協力 アーキタイプベンチャーズ、ブランズウィック・グループ

【協賛】



【後援】



【対象者】

サステナビリティトランスフォーメーション(SX)推進企業、研究開発型スタートアップ企業、金融関係者(機関投資家、アセットオーナー、ベンチャーキャピタル、証券会社、証券会社、銀行、地域金融機関)、大学・アカデミア関係者、大学生・大学院生、政府関係者の方々



参加申し込みは左のQRコードを読み取ってご利用ください。
※読み取れない方は下記のURLを直接入力してご利用ください。

URL <https://fdsf2023.peatix.com/>

参加無料
事前登録制

時間	プログラム
9:15	開場
9:45	開会のご挨拶 「サステナビリティ課題の解決に向けた金融、科学と技術、事業における価値創造」 一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ代表理事 小野塚 恵美
9:50	基調講演 「サステナブルファイナンスの現状と展望」 金融庁総合政策局総合政策課課長 高田 英樹 氏
10:05	パネルディスカッション 「サステナビリティ課題の本質と日本の文脈」 FCLT Global マネージングディレクター マシュー・レザーマン 氏 三菱UFJモルガンスタンレー証券シニア・アドバイザー ロバート・アラン・フェルドマン 博士 トヨタ自動車株式会社執行役員CSO 大塚 友美 氏 ブランズウィック・グループ パートナー テレサ・カナタ 氏
11:10	プレゼンテーション 「気候変動に関するグローバルの潮流と日本に対する期待」(調整中)
11:40	パネルディスカッション 「サステナビリティ領域における日本企業の競争戦略」 経営共創基盤 共同経営者/マネージングディレクター 堀野 誠 氏 株式会社Sustaincraft 代表取締役CEO 末次 浩詩 氏 株式会社EX-Fusion 代表取締役CEO 松尾 一輝 氏 Archetype Ventures Partner 北原 宏和 氏
12:30	ランチ・ネットワーキング+スポンサーシッププログラム紹介
13:30	パネルディスカッション 「革新的技術/ディープテックによるサステナビリティ課題の解決」 Teleistence株式会社 代表取締役CEO 富岡 仁 氏 HERO Impact Capital Founder & General Partner 渡邊 拓 氏
14:15	パネルディスカッション 「サステナブルファイナンスに向けた人材の育成と活用」 金融庁総合政策局総合政策課課長 高田 英樹 氏 クロス・フィロソフィーズ株式会社 代表取締役 吉田 幸司 博士 En-CycleS 独立コンサルタント 岸上 有沙 氏
15:20	プレゼンテーション 「10兆円ファンドの今」 国立研究開発法人 科学技術振興機構 資金運用本部副部長マネージング・ディレクター、資金運用室長 杉本 直也 氏
15:35	パネルディスカッション 「産学連携の現場から」 東北大学理事・副学長 青木 孝文 氏 学校法人 立命館 財務部長 湯井 克也 氏 ディー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社 運用本部 株式運用戦略部長 中瀬 剛 氏 株式会社かんば生命保険 執行役員兼運用企画部長 野村 裕之 氏
16:15	パネルディスカッション 「国策としてのサステナビリティトランスフォーメーションとエコシステム」 内閣府(調整中) 経済産業省(調整中) 環境省総合環境政策統括官 上田 康治 氏 シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役、コモンズ投資株式会社代表取締役会長、 ブランズウィック・グループ シニア・アドバイザー 洪澤 健 氏 ブランズウィック・グループ シニア・コンサルタント 佐藤 剛一郎 氏
17:00	ネットワーキング (軽食+ドリンク)

注1: 本コンテンツは、セミナー情報のご案内のみを目的としています。本コンテンツの内容を無断で使用、複製、開示、配布することは固く禁じられており、違法となる可能性があります。
注2: スピーカー、プログラムは変更される可能性があります。

一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ
<https://fdsf.jp>

